

最優秀賞

## お母さんの手

茨城県 八千代町立安静小学校三年 野田 美南海

私のお母さんの手は歌にもある様にまほうの手だと私は思います。お父さんの手よりも小さいけれど私にとってはだれよりも大きくあたたかい手です。そんなお母さんの手に感動した事が三つあります。

一つ目は、お料理やせんたくをする手です。お母さんが作る料理はとてもおいしいです。私が食べたい物を何でも作ってくれます。今日のごはんは何かなあ？と毎日楽しみにしています。私がよごした洋服などをせんたくしてくれるのもお母さんの手です。せんたくきでも落ちないよこれはいつも手であらってくれます。だからいつもきれいな洋服を着る事が出来ます。

二つ目は、私のおしりをたたく手です。私がいけない事をして怒られる時、たまにおしりをたたかれる事があります。たたかれている時は、いたくて泣いちゃう時もあるけど、たたかれた後の私のおしりはとてもあたたかいです。なぜかと言うとお母さんのあいじょうがこもっているからです。お母さんは私に言いました。

「私の事が大好きだからおこるんだよ。きらいだつて。たたくお母さんの手もいたいだろうから、いい子でいようと私は思いました。」

三つ目は、私をおんぶしてくれる手です。私がかぜを引いてびょういんに行く時、車までおんぶをしてくれるです。びょういんについた時もびょういんの中までおんぶをしてくれます。お母さんの両手で私が落ちない様にしっかりとささえられています。本当は、大へんなのに私をさえてくれているお母さんのせなかと手はとても大きいです。あたたかいです。私は心の中で「ありがとう」とつぶやいていました。その他にも何で

も出来て、いろんな事をしてしまうお母さんの手だと思えます。そんなお母さんの手をよく見るとガサガサしてキズもある時があります。毎日いろんな事で使っているのです。お母さんの手もつかれているのかなあ？と思う時もあります。

これからは、私もお母さんの手にはかなわないけれど、自分の事は自分でやる手になって少しもお母さんの手を休ませてあげようと思います。私は大人になってもお母さんのまほうの手を忘れないと思えます。私は、こんなに大きくなってあたたかい手にとてもかんどうしました。

